

製品名: マニックフリンジウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13619**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	MFNG
別名	MFNG; Beta-1; 3-N-acetylglucosaminyltransferase manic fringe; O-fucosylpeptide 3-beta-N-acetylglucosaminyltransferase
遺伝子 ID	4242.0
SwissProt ID	O00587
免疫原	抗血清はヒト MFNG 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

背景

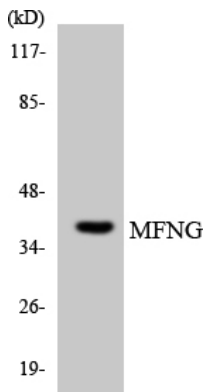
この遺伝子は、ラジカルフリンジ遺伝子およびルナティックフリンジ遺伝子を含むフリンジ遺伝子ファミリーのメンバーです。これ

らはすべて、胚発生においてノッチ受容体経路において境界を定める働きをする、進化的に保存された分泌タンパク質をコードしています。ゲノム構造は他の糖転移酵素とは異なりますが、フリンジタンパク質はフコース特異的な β -1,3-N-アセチルグルコサミニルトランスフェラーゼ活性を有し、ノッチ上の O 結合型フコース残基の伸長を誘導し、ノッチシグナル伝達を変化させます。[RefSeq 提供、2009 年 10 月],触媒活性: フコシル化タンパク質受容体のフコース残基に UDP-D-GlcNAc から β -D-GlcNAc 残基を転移します。機能: ノッチシグナル伝達を活性化するための O 結合型リガンドの伸長に関する糖転移酵素。フコース特異的 β -1,3-N-アセチルグルコサミニルトランスフェラーゼ活性を有する。オンライン情報:Beta-1,3-N-アセチルグルコサミニルトランスフェラーゼマニックフリンジ,オンライン情報:GlycoGene データベース,類似性:グリコシルトランスフェラーゼ 31 ファミリーに属します。,

研究分野

ノッチ;

画像データ



MFNG 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウエスタン プロット分析。